〇概ね5年で実施する取組

【 令和4年度 】

域図を公表

域図の公表

■:二級河川関連市町村、■:二級河川関連市町村(水位周知河川)、■:オブザーバー関連市町村

《 取組状況のフォローアップ 》 (星取表) ○:実施予定 (○):R4年度新たに予定した取組 ●:実施中および実施済み (●):R4年度新たに実施した取組 ■:該当なし・対象なし 実施する機関 具体的な取組の柱 気 沖縄 事 玉 宜 野 名 古良 総 納谷 課題 目標 主な内容 部 納 城 城 象合地理 添谷 城 垣富 江 玉 座 屋 対応 時期 名 玉 原 島間 味 瀬 城 島敷味 東 東 公室 具体的取組 務院 村 村村 市市村 町 町村 村 市 町村村市町町 村町 村 村 村 市 台局 市村村村村村町 ⊞T 村 市市 市町町 村 (1) 住民が自ら避難行動を起こすための水防災意識醸成のための取組 ア水防災意識の醸成、防災知識の向上 (ア)あらゆる媒体を活用した地域 あらゆる媒体を活用した地域 住民の水防災意識啓発のための • • 住民の水防災意識啓発のための 広報の充実 (2)ア(ア)、(2)イ(ウ)、 広報の充実 消防や防災関係機関と連携し (イ)消防や防災関係機関と連携し た講習会・研修会の取組を拡大 \circ た講習会・研修会の取組の拡大 する。 継続 宇施 (ウ)洪水時の適切な避難行動をと ・要配慮者利用施設管理者への るための要配慮者利用施設管理 • • 説明会の開催 者への説明会の開催 各関係機関との連携 (工)地域の催事等での資料配布に ・地域の催事等における資料配 • • より更なる周知を図る。 自主防災組織の結成および促 (オ)自主防災組織の結成の促進 В 実施 イ 防災教育の取組 出前講座等を活用した講習会 (ア)出前講座等を活用した講習会 • の取組の拡大 0 \circ の取り組みの拡大 ・ 消防本部との連携 継続 С (イ)災害に対し備える防災知識等 防災知識等情報の充実 情報の充実 ・ 地域住民が参加する避難訓練の実 (ウ)地域住民および自主防災組織 00 • • • が実施する避難訓練および避難 ・自主防災組織が自主的に実施する 訓練のサポート 避難訓練のサポート (工)要配慮者利用施設等との避難・要配慮者利用施設等との避難 継続 0 D • 0 • 0 訓練の促進 訓練の促進 実施 要配慮者利用施設における避難行動 (オ)要配慮者利用施設における避 \bigcirc 要配慮者利用施設における避難に関 難行動計画の策定促進 する計画の策定推進 (力)防災を担う人材育成のため自・防災を担う人材育成のため自 継続 • • • • • Ε • 主防災組織研修等への参加 主防災組織研修等への参加 実施 ウ 浸水リスクの周知 (ア)水防に関するハザードマップ・既存の防災マップの更新 継続 の作成・更新し、防災マップへ 他の防災ハザードマップとの の追記し、周知を図る (イ)水防法に規定される河川につ ・水防法に規定される河川につ いて、想定し得る最大規模の降 いて、想定しうる最大規模の降 継続 G 雨を対象とした洪水浸水想定区 雨を対象とした洪水浸水想定区 実施

〇概ね5年で実施する取組

【 令和4年度 】

《 取組状況のフォローアップ 》 (星取表) ■:二級河川関連市町村、■:二級河川関連市町村(水位周知河川)、■:オブザーバー関連市町村 ○:実施予定 (○):R4年度新たに予定した取組 ●:実施中および実施済み (●):R4年度新たに実施した取組 ■:該当なし・対象なし 実施する機関 具体的な取組の柱 気 沖縄 事 久 | 渡 | 座 | 石 | 竹 | 与 | 伊 玉 野 宜 野 ф 名 古良 総 (|納|谷) 課題 目標 庁河 主な内容 護頭 部 納 城 城 象合事 地理 武 添谷 垣富 江 玉 対応 時期 座 屋 城 名 喜 島間 味 瀬 玉 原 事村水 城 島敷味 東 東 公室 具体的取組 務院 市市村 市村 町村 村 町村村市町町 村町 村 村 村 村 台局 市 村 村 村 村 町 村 村 町 村市 町 市市 市 市町町 村 (2) 急激な水位上昇に対する迅速な避難行動のための正確でわかりやすい情報提供に関する取組 ア 急激な河川水位上昇における水位等に係る情報提供 (ア)あらゆる媒体を活用した地域 ・あらゆる媒体を活用した地域 住民の水防災意識啓発のための 住民の水防災意識啓発のための • • 広報の充実 (1)ア(ア)、(2)イ(ウ)、 (2)ウ(イ)と同じ 水防災情報提供可能なHPの構 (イ)必要な情報を容易に閲覧でき 継続 Н るようにホームページ更新 実施 ホームページの更新 ・登録制防災メールの提供可能な仕 (ウ)市町村の避難指示等や必要な気 組みの構築 象情報等をメールで受信することが 外国人を含む観光客への情報メー 可能な登録制防災メールの提供 ル活用の普及促進 (工)水位、雨量の観測頻度を1分 ・水位、雨量の観測頻度(1分 継続 毎に短縮化への取組 毎)の短縮化 実施 (オ)欠測の解消のための伝送路の二重 伝送路の二重化や、監視設備の更 化や、監視設備の更新を行い確実な データ取得を可能とする観測体制の構 継続 実施 ・監視データの観測体制の構築 (力)情報伝達の多様化を図り、住 ・防災行政無線の更新および情 • • • • \bullet Κ 民への情報提供の推進 (2)イ 報伝達の多様化 実施 河川水位情報の提供環境整備 (エ)、(2)ウ(ウ)と同じ 避難指示等の発令 • • • (ア)ホットラインの構築及び更新 ・ホットラインの構築及び更新 継続 実施 (イ)水害時の防災活動の役割、避 難行動を明確化したタイムライ ・タイムラインの策定及び更新 \bullet 0 ンの策定及び更新 (ウ)あらゆる媒体を活用した地域住 • あらゆる媒体を活用した地域住民 民の水防災意識啓発のための広報のの水防災意識啓発のための広報の介 充実 (1)ア(ア)、(2)ア(ア)、(2)ウ 実(再掲) 継続 実施 (工)情報伝達の多様化を図り、住 ・防災行政無線の更新および情 \bullet • • • • \bullet • • • 民への情報提供の推進(再掲) 報伝達の多様化 ・河川水位情報の提供環境整備 (2)ア(カ)、(2)ウ(ウ)と同じ 住民への情報伝達の体制や方法 (ア)出前講座等を活用した講習会 ・出前講座等を活用した講習会 維統 0 • • の取組やパンフレット等の配布 の取組 Ν • • 宝施 により認知度を高める パンフレット等の配布 (イ)あらゆる媒体を活用した地域住・あらゆる媒体を活用した地域住民 |イ||めら別の球やとのロウルーンでは、 |民の水防災意識啓発のための広報の | 穴実 (1)ア(ア)、(2)ア(ア)、(2)イ | 実 (再掲) 継続 0 (ウ)情報伝達の多様化を図り、住 防災行政無線の更新および情 • 民への情報提供の推進 (2)ア (カ)、(2)イ(エ)と同じ 報伝達の多様化 ・ 河川水位情報の提供環境整備 (工)災害に対し備える防災知識等 ・災害に対し備える防災知識等 継続 実施 0 • • • 0 • • • • 情報の充実 情報の充実

〇概ね5年で実施する取組 【 令和4年度 】 《 取組状況のフォローアップ 》(星取表)

■:二級河川関連市町村、■:二級河川関連市町村(水位周知河川)、■:オブザーバー関連市町村

○:実施予定 (○):R4年度新たに予定した取組 ●:実施中および実施済み (●):R4年度新たに実施した取組 ■:該当なし・対象なし

○・夫肥アと ○・大肥アと ○・ハイトを対応にアとびに対射 ●・大肥中のよび夫肥河の ○・ハイトを対応に天肥びに対射 ■・改当なび・対象など													_	_																																		
	具体的な取組の柱							実施する機関																																								
	事項				名	国フ	東	今	本	恩	自气	🔂 伊	₽ =	5 沖	宜	浦	読	嘉	北北	中	那	豊	糸	南	(西	5 南	ク	渡	座	石	竹	与	伊	伊	与	粟	渡	北	南	宮	多		沖縄	県	3	気 丼	中 選 日	3
	具体的取組	主な内容	課題対応	目標時期	0.50	Q;		仁	部	納」	莝	工 屋 村	≣ ∄	縄	湾		谷	納	谷 城町 村	城		城	満市	城	重頼町	原	島	敷	間味村	垣市	ED]	国	江	是名村	原	王	名喜村	東	東	島	間	事				象合	総合事	_ b
-	工 避難場所・避難経路、避難誘導体制																																															
	(ア)避難所や避難経路への案内表 示板等の設置	・避難所、避難経路への案内表示板等の設置・多言語による避難場所看板の設置			•	•	•		•	•)	0		•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•		•	•																
	(イ)避難所・避難経路の安全性確認 及び見直し	・自治会との連携 ・避難所・避難経路の安全性確認及 び見直し	Р	継続実施		•		•	•	•	•			•		•	•	1	•	•		•		•	•	•	•	•			•	•																
	(ウ)浸水による途絶を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の取組	・浸水による途絶を考慮した避 難経路や避難場所の確保						•	•	•	•		•	•		•	•	•		•	•	•		•	•	•	•	•	•		•																	
	(工)緊急連絡体制の構築等、連絡 体制・情報共有の強化	・緊急連絡体制の構築 ・関係機関との連絡体制、情報 共有の強化	Q	継続実施				•		•	•		•	•	•	•	•	•	•	•			•	•	•	•	•	•		•	•	•																
	(オ)避難行動要支援者支援計画策定 の支援	・避難行動要支援者支援計画策定の 支援	R	継続	•	•			0	•	• ()	C	•	•	•	(0	•	•	•	•	•	•	•	С	•				•	0																
	(力)要配慮者利用施設における避 難行動計画の策定促進	・要配慮者利用施設における避 難行動計画の策定促進	n	実施	•	•		•	•	•	•	0 0		•	0	•	(0	•	•	•	•		•	•	•	•				•	0																

〇概ね5年で実施する取組

【 令和4年度 】

《 取組状況のフォローアップ 》 (星取表)

■:二級河川関連市町村、■:二級河川関連市町村(水位周知河川)、■:オブザーバー関連市町村

○:実施予定 (○):R4年度新たに予定した取組 ●:実施中および実施済み (●):R4年度新たに実施した取組 ■:該当なし・対象なし 実施する機関 具体的な取組の柱 気 沖縄 事 項 玉 野 野 平 総 宜 城城 中 那 名 大 大 古良 課題 目標 本方河川課 地農村整備課 地農村整備課 納 谷 t 象 台事務局 台 満城原瀬 主な内容 護頭 部納 武 添谷 江 屋 垣富 玉 事公室 座 湾 城 (名) 対応 時期 喜 島間 味 玉 原 東 東 島敷味 具体的取組 市村 村 市村村村村村町村村町 村市 市市村町 町村村 <mark>市</mark> 市 市 市 町 <mark>町</mark> 町 町村村市町町 村 村町 村村 (3) 大規模水害に対し、災害に強い地域づくりに寄与する着実なハード整備と水防活動に関する取組 ア水防活動の実施体制 緊急連絡体制の構築 (ア)関係機関が連携した水防訓 0 ・関係機関との連絡体制、情報 lacktrian• 練、連絡体制、情報共有の強化 共有の強化 維持 S 実施 • • 0 • (イ)洪水時の災害対応体制整備 洪水時の災害対応体制整備 • (ウ)関係機関が実施する水防訓練等・関係機関との連携 0 \circ に連携し普及啓発を図る取組 Т 実施 (工)地域住民を対象とした水防訓 00 \circ 練等を定期的に実施し、水防意・定期的な水防訓練等の実施 0 . . . 0 識の向上を図る取組 (オ)排水路、浸透桝、沈砂池等の ・排水路、浸透桝、沈砂池等の 継続 0 • • U • 実施 定期的な維持管理の継続 定期的な点検・巡視 イ 排水施設、排水資機材の操作・運用 (ア)通常点検の強化 通常点検の強化 • • • а 継続 0 • • 0 (イ)専門業者への点検委託の実施 ・専門業者への点検委託の実施 b 実施 ウ 洪水を安全に流すためのハード対策 • • • (ア)河川改修(河道拡幅)の推進 ・河川改修(河道拡幅)の推進 継続 • • • (イ)河川掘削の実施 ・河道掘削の実施 X 実施 (ウ)水位周知河川の早期整備 水位周知河川の早期整備 (工)浸水対策事業の実施 継続 Y、W 0 0 • • (貯留施設・バイパス水路整 浸水対策事業の実施 • 実施 継続 0 \bullet 排水路の整備 U, V • • (オ)排水路の整備の実施

概ね5年間で実施する取組 調査表 【具体的な内容に関する 取組実施状況】

	概ねら年間で実施する敗組 調査表	【具体的な内容に関する 取組実施状況 】
	具体的な取組の柱 事 項	各関係機関での具体的な取組内容
	主な取組項目	令和4年度から新たに実施予定の取組内容
(1)	住民が自ら避難行動を起こすための水防災意識醸成のための取組	
ア	水防災意識の醸成、防災知識の向上	
	(ア)あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実(2)ア(ア)、(2)イ(ウ)、(2)ウ(イ)と同じ	・出前講座や市町村訪問において、水防災意識啓発のため防災気象情報及び気象解説の利活用などを説明し、 関連するリーフレット等も配布した。関係機関等の要望を考慮し、新型コロナウイルス感染防止対策を実施し た対面形式、オンライン形式、オンデマンド形式など各場面に応じて対応している(気象台)
	(イ)消防や防災関係機関と連携した講習会・研修会の取組の拡大	関係機関と連携した出前講座を実施予定(南風原町)
	(ウ)洪水時の適切な避難行動をとるための要配慮者利用施設管理者への説明会の 開催	
	(工)地域の催事等での資料配布により更なる周知を図る。	地域のお祭り等で啓発活動を行う(嘉手納町) 、防災に関する意見交換会(大宣味村)、バンフレット等の作成配布(久米 島町)、村まつり等のイベント時に防災ブース設置予定(宜野座村)
	(オ)自主防災組織の結成の促進	防災訓練等を通し、結成促進を図る(南風原町)、未結成の自治会へ結成に向けた支援を行う(北谷町)、区長会等にて結成に向けた説明会を実施予定(名護市)
1	防災教育の取組	DEAGLE CHIMICHAI / ILINOISEE CHIMICH
	(ア)出前講座等を活用した講習会の取り組みの拡大	・生涯学習フェスティバルなどで実施(宜野湾市)・自治会や学校にて、出前講座を実施予定(南風原町)・ 児童施設などに出前講座を行う(本部町)、防災担当による防災講話の実施(糸満市)、児童施設などに出前 講座を行う(本部町)
	(イ)災害に対し備える防災知識等情報の充実	広報紙での周知(伊平屋村)、小学校における防災クラブの実施(沖縄市)
	(ウ) 地域住民および自主防災組織が実施する避難訓練および避難訓練のサポート	県主催の広域地震・津波避難訓練、キャンプ・ハンセンとの合同訓練の実施(金武町)、基地内避難訓練等実施予定(北谷町)
	(工)要配慮者利用施設等との避難訓練の促進	
	(オ)要配慮者利用施設における避難行動計画の策定促進	対象施設へ避難確保計画の策定支援(うるま市)、要配慮者施設の避難確保計画策定の支援を継続(南城市)、水防法による避難計画作成の義務化の資料を配布(名護市)、策定要領などの情報提供(久米島町)
	(力)防災を担う人材育成のため自主防災組織研修等への参加	・地域防災リーダー養成講座実施(宜野湾市)、自主防災会会員を対象に補助金を活用した防災士認証取得の サポート予定(糸満市)、自主防災組織の役員等が全国自主防災組織リーダー研修会への参加促進(北中 城)、県主催等の各研修会への参加(本部町)、水防法による避難計画作成の義務化の資料を配布(名護市)
ウ	23.37.3 13.373	
	(ア)水防に関するハザードマップの作成・更新し、防災マップへの追記し、周知を図る。	
	(イ)水防法に規定される河川について、想定し得る最大規模の降雨を対象とした 洪水浸水想定区域図の公表	
(2)	急激な水位上昇に対する迅速な避難行動のための正確でわかりやすい情	報提供に関する取組
ア	急激な河川水位上昇における水位等に係る情報提供	
	(ア)あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実(1)ア(ア)、(2)イ(ウ)、(2)ウ(イ)と同じ	戸別受信機の設置(今年度9月(予定)より運用開始) (金武町)
	(イ)必要な情報を容易に閲覧できるようにホームページ更新	令和4年度から全庁的にリニューアルを予定。(豊見城市)
	(ウ)市町村の避難指示等や必要な気象情報等をメールで受信することが可能な登録制防災メールの提供	
	(工)水位、雨量の観測頻度を1分毎に短縮化への取組	
	(オ)欠測の解消のための伝送路の二重化や、監視設備の更新を行い確実なデータ 取得を可能とする観測体制の構築	
	(力)情報伝達の多様化を図り、住民への情報提供の推進(再掲) (2)ア(カ)、(2)ウ(ウ)と同じ	・防災行政無線、気象情報メール(登録制)、エリアメール、ヤフー防災アプリ、市ホームページにて周知(那覇市)
1	避難指示等の発令	
	(ア)ホットラインの構築及び更新	
	(イ)水害時の防災活動の役割、避難行動を明確化したタイムラインの策定及び更 新	タイムラインの策定を実施(金武町)
	(ウ) あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実 (1) ア(ア)、(2) ア(ア)、(2) ウ(イ)と同じ (工) 情報伝達の多様化を図り、住民への情報提供の推進 (2) ア(カ)、(2) ウ(ウ)と同じ	
ウ	住民への情報伝達の体制や方法	
	(ア)出前講座等を活用した講習会の取組やパンフレット等の配布により認知度を 高める	防災アドバイザーを派遣して講習会等の取組みを行う(北谷町)・生涯学習フェスティバルなどで啓発資料配布(宜野湾市)
	(イ)あらゆる媒体を活用した地域住民の水防災意識啓発のための広報の充実(1)ア(ア)、(2)ア(ア)、(2)イ(ウ)と同じ	
	(ウ)情報伝達の多様化を図り、住民への情報提供の推進 (2)ア(カ)、(2)イ(エ)と同じ	戸別受信機の設置(今年度9月(予定)より運用開始) (金武町)
	(エ)災害に対し備える防災知識等情報の充実	防災に関する資料配布 (うるま市) 、防災に関する意見交換会の実施 (大宣味村)
I	避難場所・避難経路、避難誘導体制	
	(ア)避難所や避難経路への案内表示板等の設置	
	(イ)避難所・避難経路の安全性確認及び見直し	
	(ウ)浸水による途絶を考慮した避難経路や避難場所の確保に向けた連携・協働の	
	取組 (エ)緊急連絡体制の構築等、連絡体制・情報共有の強化	災害対策連絡協議会開催(市、消防、警察、空自、陸自)(糸臈市)
	(オ)避難行動要支援者支援計画策定の支援	関係線と連携し計画策定を支援(うるま市)
	(力) 要配慮者利用施設における避難確保計画の策定促進	対象施設へ避難確保計画の策定支援(うるま市)、防災計画修正とあわせて、要配慮者利用施設管理者に説明会等を実施予定(陶風原町)、要配慮者利用施設における避難行動計画の策定(彫動市)
(3)	大規模水害に対し、災害に強い地域づくりに寄与する着実なハード整備	·
ア	水防活動の実施体制	
	(ア)関係機関が連携した水防訓練、連絡体制、情報共有の強化	道路課、 腰林課、上下水道など、 関係機関の大雨時の初勤体制訓練を実施予定 (豊見城市)
	(イ)洪水時の災害対応体制整備	水害に関する下水道BCP(追補版)の作成(豊見城市)
	(ウ)関係機関が実施する水防訓練等に連携し普及啓発を図る取組	広報紙での周知(伊平屋村)
	(工)地域住民を対象とした水防訓練等を定期的に実施し、水防意識の向上を図る 取組	
	(オ)排水路、浸透桝、沈砂池等の定期的な維持管理の継続	 排水路(側満等)について、点検を実施(覇手納町)、準用河川の浚渫を継続実施(南風原町)、競波川の河道断面確保の ため浚渫工事の実施(小重瀬町)、緊急浚渫推進事業債を活用し河川の浚渫を行う(うるま市)
1	排水施設、排水資機材の操作・運用	The second secon
	(ア)通常点検の強化	雨水出水期の排水溝の点検実施(南風原町)
	(イ)専門業者への点検委託の実施	
ウ	洪水を安全に流すためのハード対策	
	(ア)河川改修(河道拡幅)の推進	
	(イ)河道掘削の実施	
	(ウ)水位周知河川の早期整備	
	(工)浸水対策事業の実施(貯留施設・バイパス水路整備)	市内に河川の貯留施設を整備予定。(那覇市)、物件補償(北中城村)
	(才)排水路の整備の実施	河川改修工事実施予定(惡納村)